

人文・社会科学科目群

日本理解分野

日本理解分野は、留学生を対象としたもので、日本に対する関心を広げ、理解を深めることを目的としています。学部生の留学生に向けては *Culture and Traditions in Japan I*、*Culture and Traditions in Japan II* (2 クラス開講)、*Current Issues in Japan I*、*Current Issues in Japan II* の 4 科目が提供され、人文科学や社会科学の視点から、日本の文化、社会の特徴について概観できるよう構成されています。また、多様な文化的背景を持つ受講生が想定されることから、日本、自国、他国の文化や社会状況の比較を通して、それぞれについての理解を深めることも目指します。講義は英語で行われ、KUINEP 学生の推奨科目となっています。

留学生を対象とした科目ですが、一部科目では、留学生以外であっても、日本の文化、社会について留学生と共に学ぶ意欲のある本学学生の聴講(単位付与は行われぬ)を認めています。詳しくは各科目のシラバスを確認の上、担当教員に相談してください。日本人学生については KULASIS での登録を認めていませんので、ご注意ください。

Culture and Traditions in Japan I (前期) では、「一期一会」、「以心伝心」などのキーワードを手がかりに、言葉を通して日本文化の特徴を探っていきます。*Culture and Traditions in Japan II* (後期・湯川 志貴子 担当) では、年中行事、信仰、婚姻、教育などの日本文化の様々な側面を取り上げ、文化や伝統の特徴、その歴史的変遷を考察します。同じく *Culture and Traditions in Japan II* (後期・阿久澤 弘陽 担当) では、第二次世界大戦、差別、経済・政治問題、ポップカルチャーなどのトピックを通して日本近現代史を概観します。*Current Issues in Japan I, II* は共に社会科学的視点から、*Current Issues in Japan I* (前期) は家庭、学校、職場、スポーツ、コミュニケーション、*Current Issues in Japan II* (後期) は少子・高齢化などの人口問題、女性の社会進出やジェンダー意識、格差社会などの題材を選定し、日本社会の特徴について学びます。以上の 4 科目は、日本に関する知識が十分でない人でも理解できるよう配慮されています。また、複数の科目を受講することで、より幅広い内容を網羅し、効果的な学習が期待できるようになっています。